

平成20年度文部科学省委託事業

総合的な放課後対策推進のための調査研究

環境にやさしいライフスタイルの実現に向けた体験プログラム実施モデル事業

エコ体験プログラム

実施のポイント



財団法人 日本レクリエーション協会

プログラムのパターンは3種類

プログラム計画時、イメージづくりとしてどんな内容で実施するのかを検討します。その際に、3つのパターンのうち、何れかに該当するかを当てはめてみます。

① 楽しみ方エコ研究プログラム

手づくり地域エコマップやエコ図鑑作成など

○放課後子ども教室などでは：

家族と発見してきたこと等をもとに、子どもたちが、創意工夫を発揮しながら、エコ意識を高める手作りマップや手作り図鑑等を作成する（もっとよいエコ研究をしたいという意欲が、家族での余暇にエコに関する調べ物を楽しむことの促進等につながる）。

○家庭生活では：

家族とともに、省エネの工夫や、気持ちの良い自然環境等を見たり、食料品の輸入元（フード・マイレージ）を確認することを楽しむ。

川の浄化と環境美化を遊び感覚で体験学習

西都市レクリエーション協会（宮崎県）

米ぬかとEM発酵液を混ぜ合わせボカシを作り、発行したボカシで土まんじゅうを作り、それを川に投げ込み川の浄化、環境美化の学習を遊び感覚で行いました。

団子作りでは、子どもたちより大人の参加者が大いに楽しんでいました。作った団子の変化や効果を学習することにより、家族で団子を投げ入れた川を見学しその変化を観察し、環境美化について今以上に意識を高められたらと思います。



昔ながらの遊びや行事を体験する

将監けやきっこ放課後教室（宮城県）

3回それぞれ、メニューを決め、昔ながらの物を大切にするならわしを学ぶとともに、作って遊ぶことを体験しました。

1回目：お手玉づくり

2回目：稲わらでしめ縄づくり

3回目：小正月の餅かざりを作って食べる

稲作体験の最終としてしめ縄づくりを実施しました。脱穀後の稲わらも捨てることなく生活に活かされていることを学びました。上手な子は2メートルほどの縄をつくり、縄跳びをして遊んでいました。



②リサイクル遊具の創造プログラム

リサイクル材料を使った遊具や生活グッズづくり

○放課後子ども教室などでは：

創意工夫を働かせて、さまざまなリサイクル材料を使った遊具づくり（及び遊具を使った遊び）や暮らしの中で楽しく疲れるグッズづくりを行う。

○家庭生活では：

子どもたちが作った遊具で家族で遊んだり、親子でリサイクルグッズの創作を楽しむ（家族での取り組みが放課後子ども教室などでのプログラムの内容の豊富化につながる）。

③ローインパクト外遊び創造プログラム

身近な自然で楽しめる伝承遊びをもとにしたオリジナル外遊びづくり

○放課後子ども教室などでは：

身近な自然（公園、校庭、庭等）で楽しめる伝承遊び等をもとに、子どもたちの創意工夫でオリジナル外遊びをつくる。

子どもたちが創作した外遊びを、家族ぐるみで楽しんだり、家族で知恵を集めてさらに新しい遊びへとアレンジする等を楽しむ（家族での取り組みが放課後子ども教室でのプログラムの内容の豊富化につながる）。

育てたさつまいもでエコあそび

～自主保育～深川あそび隊（東京都）

深川あそび隊では、木場公園の畑を借りて春にサツマイモの苗を植え、秋に収穫をします。そこで、さつまいもに関して様々なエコを考えました。

- ①家庭から出た生ゴミを堆肥に
- ②収穫後のツルでブランコ／きしゃぽっぽ
- ③ツルのきんぴら
- ④ツルでリースづくり
- ⑤芋版
- ⑥芋煮や焼き芋

サツマイモの生長を通して、食べたり遊んだりすることができることを体験してもらうことを目的に実施しました。今回は、乾燥式の生ゴミ処理機を使用しましたが、今後、段ボールコンポストなどのCO₂を出さない堆肥づくりにも挑戦したいです。



レッツ ゴー！ 牛乳パックリサイクル

瀬戸内町子宝地域づくり推進委員会
～阿木名地区、古仁屋校地区～（鹿児島県）

牛乳パックからハガキが作れることを体験するとともに、自分だけのオリジナルハガキを作成しました。また、牛乳パックから創意工夫し、リサイクル用具を作って遊びました。

子どもたちは学校でもエコについて学習しているように関心を示していました。

エコについて、子どもたちにどのように伝えれば理解でき、エコを身近に感じることができるか、また、そのためにはどのような方法があるか検討を重ねて実施しました。今後、子ども達がエコについて身につけたものを、どう発展させ、日常生活に活かしているか課題だと思えます。



プログラムを実施するための約束ごと

一番大切なのは、「子どもたちが、楽しさ、喜び、達成感等を感じながら夢中になって取り組めるもの」。

そのためには、以下の①～③のそれぞれ a b c のうち、何れかに該当することが重要です。



①子どもたちが主体的にかかわり、創造性を発揮すること

- a. まずは大人が楽しいアクティビティを提供。これをヒントに、子どもたちが自分たち流の遊びをつくる（アレンジ）。
- b. 大人がお題（リサイクルものづくり、エコによい工夫の発見、自然のもので楽しめる遊びづくり等）を提示。それらに対応するアクティビティを子どもたちがつくる。
- c. ヒントになるアクティビティも検討のお題も示されなくても、環境にやさしいアクティビティを子どもたちが考え、実施する



②環境問題に対してつながりがあること

- a. 個別、具体的な環境問題へのアプローチ（ゴミを減らす、緑を育てる等）ではないが、環境にやさしいライフスタイルの一環として楽しめるアクティビティ
- b. 楽しんだ結果を振り返り、環境問題への取り組み方や環境保全の大切さへなどへの気づきを促すことができる（子どもたちができるほどと実感できる）アクティビティ
- c. 楽しむことそのものがリサイクルや自然環境保全等環境問題へのアプローチになっているアクティビティ（環境問題へのアプローチや環境学習を遊ぶ、楽しむ）



③家庭生活につながりがあること

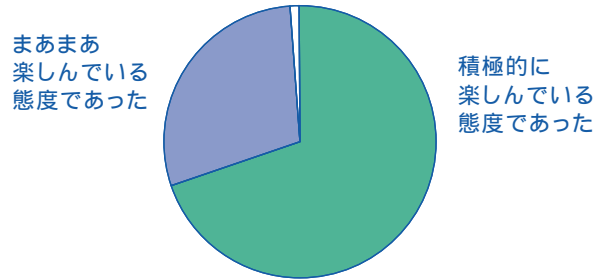
- a. 子どもたちが放課後子ども教室でアクティビティを楽しんだ成果（感じたりわかったことや、つくったもの等）が、家庭生活での環境への配慮や環境にやさしいライフスタイルやよい環境づくりに役立つ
- b. 子どもたちが放課後子ども教室で楽しむアクティビティの準備や練習、アイデアづくり等を、休日や食後の団らん時などに家族の遊びとして楽しむ。
- c. 子どもたちが放課後子ども教室で楽しんできたアクティビティを、休日などに家族で楽しむ。

実際、取り組んでみて、感想はいかがでしたか？

● スタッフアンケート ●

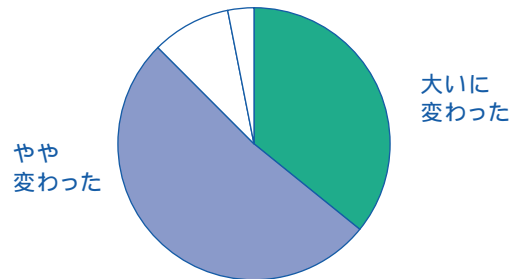
< 1 >

子どもたちの興味・関心・姿勢について、主にどのように感じましたか？



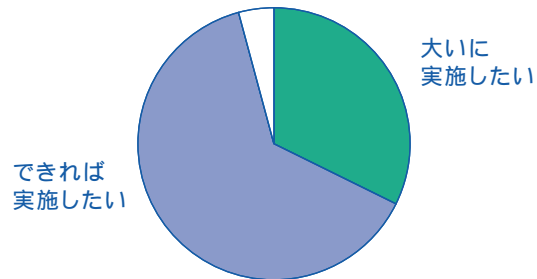
< 2 >

あなたのエコに対する意識や姿勢は変わりましたか？



< 3 >

今回実施したプログラムや、新しく創作したり取り入れたりしたプログラムなどエコに関連するプログラムを、今後も実施しようとお考えですか？



< 4 >

子ども達にエコの大切さや楽しさを伝える自信は高まりましたか？今回のプログラム実施前の自信を50点とすると、今現在の自信は何点を付けることができますか？

0点～ 25点	・・・	3%
25点～ 50点	・・・	3%
50点～ 75点	・・・	73%
75点～ 100点	・・・	21%

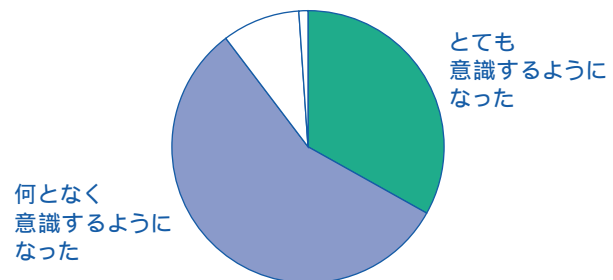
エコあそびを実施した感想は？ スタッフアンケートより

- エコへの関心が深くなったように思う
- エコ体験プログラムがこんなに親子への影響を与えていると思っていなかった
 - ・ ・ ・ 今まで「〇〇を作りたいから材料を買ってきて！」と言っていた子どもたちが、リサイクル品を持参し「これで〇〇を作る」と変わった
- 省エネを心がけるようになった
- 地球の環境に目を向けようと思いました
- 遠い課題のように感じていたが、身近に感じる事ができた
- 私自身が何をしなければならないか…だけでなく、子どもたちと共に何ができるのか…を考えるようになった
- 日常的に頭の隅で「これはこうしたらエコになる」と考えて行動するようになり、子どもからも変わったと言われた
- これまでは子どもたちも「ゴミ」として認識していた物が使える物になる（リサイクル）ということ、教室を通して理解してくれた（例：ペットボトル→植木鉢）。最終回でのエコ発表会では、ア

● 保護者アンケート ●

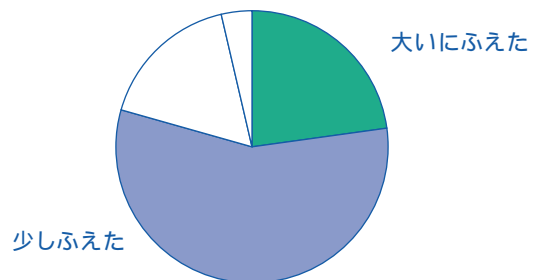
< 1 >

エコ体験プログラムを3回実施しました。以前と比べて、お子様は、エコ（環境・省エネ・自然に親しむ等）を意識するようになりましたか。



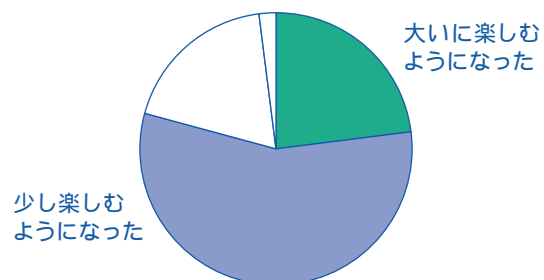
< 2 >

エコ体験プログラムがきっかけになって、ご家族でエコを楽しみながら行動することがふえましたか



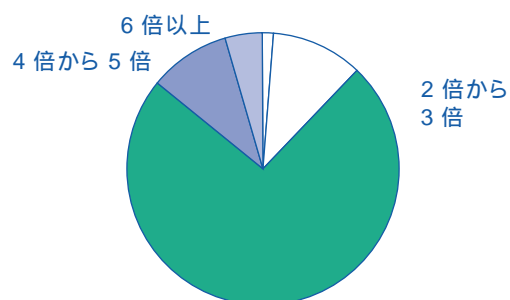
< 3 >

新しいエコの工夫（生活などに関するもの）を楽しまれるようになりましたか。



< 4 >

お子様がエコ体験プログラムに参加する前をエコカ（関心や取り組み）を1エコとすると、今、家族のエコカは何倍になりましたか。直感でお答えください。



アイデアの豊富さに驚いた

- エコという言葉だけでなく、実践面で具体的に考えるようになった。また、子どもたちにどのようにわかりやすく説明するかを意識するようになった
- 身近な物でエコ活動ができるんだと知りました。気張るのではなく、気軽にできるものなんだなあ…と
- 家の中から家族で外に出て体を動かすだけでも、地球にとってはエコになる。エコはとても身近に

ある

- 子どもが普段捨てていた物で楽しそうに遊ぶのを見て、自宅でも「これも使えるかも」と考えるようになりました
- 便利すぎる生活から、寒かったら体を動かす、自然体が良い
- 私自身が何をしなければならないか…だけでなく、子どもたちと共に何ができるのか…を考えるようになった

実施地区一覧

北海道	とうや湖レクリエーションクラブ	静岡県	富士宮市レクリエーション協会
北海道	札幌 エコあそびっず(札幌レクリエーション協会)	静岡県	NPO法人 アートの里 伊豆高原絵本の家
青森県	むつ・下北地区レクリエーション協会	静岡県	ドキドキわくわくランド
宮城県	将監けやきっこ放課後教室	静岡県	静岡市あそびの城
宮城県	家族で楽しむエコ遊び	静岡県	浜松レクリエーション研究会レクリエーションの楽校
宮城県	おはなしこぶた	愛知県	長久手町レクリエーション協会
秋田県	秋田県立大館少年自然の家	大阪府	NPO法人 アジア子供支援フジワーク基金
福島県	伊達市レクリエーション協会	奈良県	生駒市レクリエーション協会
栃木県	栃木県ユースホステル協会ジュニアスクール	和歌山県	ウエズデイクラブ
群馬県	群馬地区「あそびの城」(群馬地区スポーツクラブ)	岡山県	和話環KIDS実行委員会
埼玉県	さいたま市ななさとあそびの城運営委員会	岡山県	津山市レクリエーション協会
埼玉県	北浦和総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ「ふれあいプレイランド」	広島県	口田あそびの城
千葉県	四街道市レクリエーション協会	香川県	善通寺あそびの城
千葉県	NPO法人船橋レクリエーション協会	香川県	高松市レクリエーション協会
神奈川県	日吉台小学校はまっ子ふれあいスクール	香川県	まんのう町レクリエーション協会 子育てサロン
神奈川県	屏風浦小学校はまっ子ふれあいスクール運営委員会	福岡県	羽根木東区寺子屋(家庭塾)
神奈川県	本宿小学校はまっ子ふれあいスクール	福岡県	門司区大里東市民センター「あそびの城」
神奈川県	NPO Woodcraft 中沢小学校放課後キッズクラブ	福岡県	大野城市北の丸あそびの城(ECOちゃん)
神奈川県	神橋小学校はまっ子ふれあいスクール	福岡県	大野城市北の丸あそびの城(リサイクルあそびグッズ)
東京都	八王子市城山小学校地区放課後子ども教室	福岡県	春日あそびの城
東京都	アソビバ江東	佐賀県	武雄市レクリエーション協会
東京都	自主保育 深川あそび隊	佐賀県	佐賀県レクリエーション協会(神崎市)
東京都	江東自主保育の会 どんご	佐賀県	佐賀県レクリエーション協会(富士)
東京都	双子サークル BEANS	佐賀県	神崎市レクリエーション協会 あそびの城
東京都	八王子市サタデイあそびの広場	佐賀県	上峰町レクリエーション研究会
東京都	東大和市レクリエーション協会	熊本県	小国郷あそびの城実行委員会
新潟県	希望が丘コミュニティ推進協議会	熊本県	やまがレクリエーション協会
新潟県	新潟大学五十嵐の森キャンプ場で遊ぼう	熊本県	NPO法人 自然を愛する会JOC
石川県	(財)石川県レクリエーション協会	大分県	森町「あそびの城」森っ子広場
長野県	松本市田川地区「あそびの城」	宮崎県	西都市レクリエーション協会
長野県	佐久レクリエーション協会	鹿児島県	瀬戸内町子宝地域づくり推進委員会 阿木名校区
長野県	南信レクリエーション協会「伊那北小学校学童クラブ」	鹿児島県	瀬戸内町子宝地域づくり推進委員会 古仁屋校区
岐阜県	NPO法人 大垣市レクリエーション協会		
岐阜県	岐阜市レクリエーション協会		
岐阜県	川島スポーツレクリエーション協会		
岐阜県	可児市レクリエーション協会 遊びの達人		

■ 発行

財団法人 日本レクリエーション協会

〒101-0061

東京都千代田区三崎町 2-20-7 水道橋西口会館 6階

TEL : 03-3265-1856

TEL : 03-3265-1253

e-mail : ecoasobi@recreation.or.jp